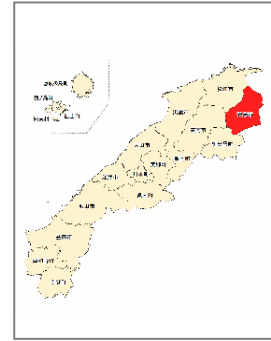


令和6年度 地域公共交通利便増進計画策定事業 事業評価 安来市公共交通活性化協議会（地域公共交通利便増進計画）の概要



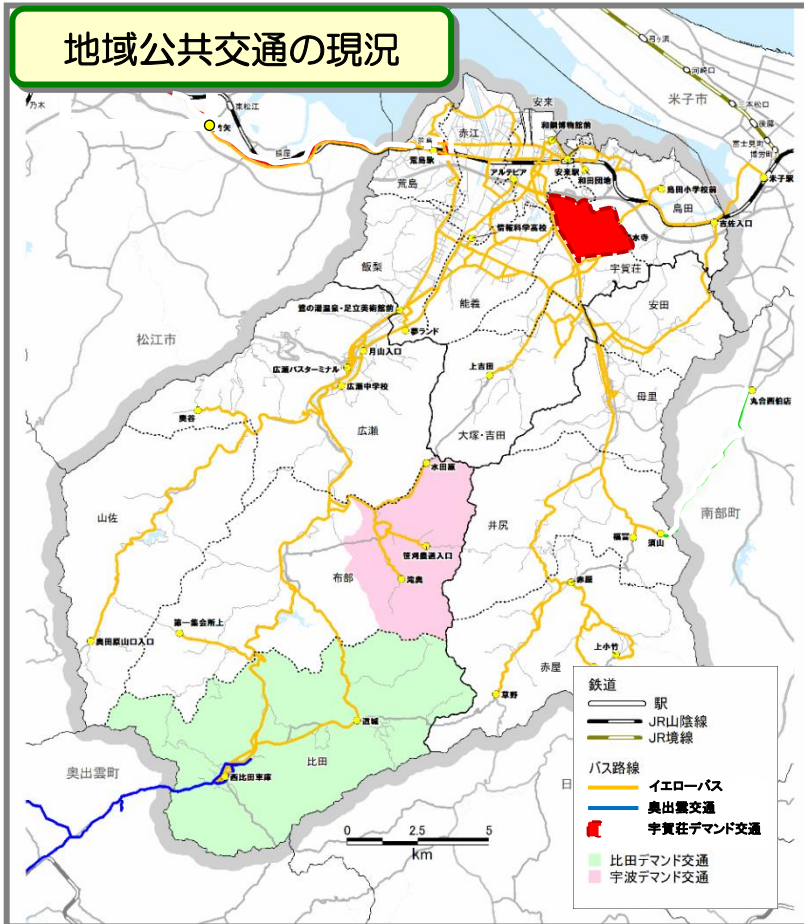
安来市の概要

- 平成16年10月に安来市・広瀬町・伯太町の1市2町が合併
- 人口 35174人（令和6年11月現在）
- 面積 421平方キロメートル

安来市協議会の構成員

安来市 一畑バス(株) 日本交通 島根県
中国運輸局 学識経験者 旅客自動車協会
利用者代表 安来警察署 島根県交運労協

地域公共交通の現況



地域公共交通の現状

- 鉄道：JR山陰本線
- イエローバス（安来市広域生活バス）15路線
- 乗合タクシー5事業者
- 介護タクシー事業者3事業者
- 自家用有償旅客運送 2地区（宇波地区、比田地区）
- 他市町の路線バスの乗り入れ：奥出雲交通

具体的な課題・問題点

- 過疎化、高齢化への対応
- 多様化する市民ニーズへの対応
- 公共交通空白地の解消
- 公共交通の担い手不足への対応
- 不効率なバス運行からの脱却
- 学生以外の利用促進



調査事業の実施

調査事業の概要

- 現況調査（利用状況、人口分布）
- 市民アンケート（市内5地域対象）
- ヒアリング調査（タクシー・貸切バス事業者）
- 利便増進計画の策定
（新たな運行形態の実施による公共交通網の形成）

協議会における検討

- 協議会の開催状況 3回開催予定
- ・第1回（5月22日）
計画策定、進め方の確認
 - ・第2回（12月25日）
計画案の協議、審査、事業評価
 - ・第3回（3月中旬開催予定）
計画の確認

地域住民の意見の反映

- ・本年度8月に市内2,643世帯を対象にアンケート調査を実施し、829世帯の回答を集計（世帯数での回収率31.3%）
- ・本年11月に市内交通事業者（タクシー5社、貸切バス3社）とヒアリングを実施し、事業実施の可能性や内容を協議した

事業実施の適切性

- ・事業が計画どおり適切に実施された。
- ・地域公共交通利便増進計画策定に必要な調査ができた。

調査事業の結果の概要

- ・住民アンケートにより市内の地域別の移動需要や行動時間帯について把握した
- ・事業者ヒアリングにより新規事業の可否、協力可能な事業内容等を検討した
- ・新たな公共交通の担い手について検証した



地域公共交通利便性増進計画の計画策定に向けた方針等

- ・安来市が事業主体となる交通空白地有償運送（白ナンバーの区域運行）を想定し、地元のタクシー事業者等へ運行を委託（乗合タクシー）
- ・既存のタクシードライバー等の活用だけでなく、新たな担い手の創出を行う事により公共交通網の拡大を図る
- ・現在行われている地域内輸送事業は、引き続き地元団体等に事業を担っていただきながら、事業支援を継続し、サービスの維持向上を図っていく
- ・イエローバス路線は他の移動サービスの導入に伴い、順次路線の統合等を行い、効率化を図っていく
- ・コールセンター等の創設を行うことにより必要な労力の圧縮を図る

令和6年度 地域公共交通確保維持改善事業 事業評価 岡山市公共交通網形成協議会（計画策定事業）の概要



岡山市の概要

- 平成21年に政令指定都市に移行
- 人口 72万人（令和2年10月現在）
- 面積 790平方キロメートル

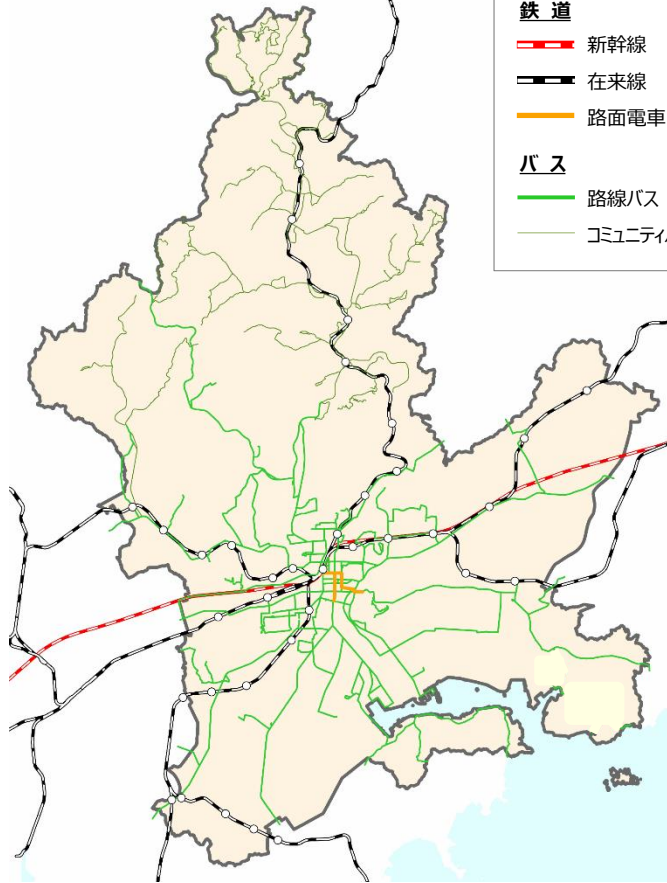
協議会の構成員

学識経験者、連合町内会、連合婦人会、障害者団体連合会、商工会議所、観光コンベンション協会、JR西日本、岡山電気軌道、両備HD、中鉄バス、中鉄北部バス、備北バス、宇野自動車、下津井電鉄、八晃運輸、県タクシー協会、県交運労協、県警、中国地方整備局、中国運輸局、岡山県、岡山市

地域公共交通の現況

凡例

- 鉄道**
- 新幹線
 - 在来線
 - 路面電車
- バス**
- 路線バス
 - コミュニティバス



地域公共交通の現状

- ・鉄道：6路線（JR西日本）
- ・路面電車：2路線（岡山電気軌道）
- ・4条バス路線：249系統（うちコミバス17系統）
- ・乗合タクシー：8地域
- ・空白地有償旅客運送（1地域）
- ・高齢化率26%

具体的な課題・問題点

- ・新型コロナウイルス感染症の影響による公共交通利用の大幅な減少と経営の悪化
- ・運転手不足による公共交通の減便・廃止
- ・バス事業者による自由競争（路線重複、運賃低廉化）と利用できるサービスの事業者間での相違（接近情報、ICカード等）

調査事業の実施

調査事業の概要

- ①路線再編案の作成
 - ・支線バスの詳細な運行計画や乗り継ぎ環境の整備、新たな方面での路線再編について検討
- ②新たな官民連携スキームの検討
 - ・支線バスに導入する公設民営方式の具体内容と、計画の推進・評価のための体制やデータ基盤整備等のあり方について検討
- ③新たな運賃体系の検討
 - ・具体の運賃設定を検討し、収入増減のシミュレーションを実施

協議会における検討

- 第12回協議会(12/23)
⇒支線の運行計画や車両等に関するトータルデザインについて協議
⇒都心の運賃適正化について協議

※第13回協議会を年度内に開催予定

地域住民の意見の反映

- 支線の運行計画、都心の運賃適正化について、パブリックコメントを実施
- トータルデザインの選定にあたって、WEB投票（対象者は限定しない）を実施

事業実施の適切性

- 事業が計画どおり適切に実施された。
- 調査結果に基づく課題整理や具体施策に関して、協議会だけでなく、路線バス分科会や市と交通事業者での個別協議を重ね、計画検討に必要な調査が実施できている。

調査事業の結果の概要

①路線再編案の作成

＜結果概要＞実施計画（第1弾）に位置付けた路線再編に基づき、支線バスのルート・停留所等の詳細な運行計画について整理した。
＜今後の方針＞乗り継ぎ環境（結節機能、ダイヤ調整、直通運賃等）や新たな方面での路線再編について検討する。

②新たな官民連携スキームの検討

＜結果概要＞支線に導入する公設民営方式（市と事業者で締結する協定内容等）について、事例収集を行った上で整理した。
＜今後の方針＞計画の推進や評価のための体制やデータ基盤整備等のあり方について検討する。

③新たな運賃体系の検討

＜結果概要＞新たな運賃体系として、ゾーン運賃制について、令和5年度に実施した運賃200円キャンペーンの実施結果を参考にしながら、具体的な運賃設定を路線バス分科会で検討し、収入増減のシミュレーションを実施した。
＜今後の方針＞具体案の取りまとめに向けて、引き続き、路線バス分科会等で議論を行う。

地域公共交通利便増進実施計画の策定（第1弾の変更）に向けた方針等

- 支線の運行計画について、検討結果に基づき、確定した内容（スケジュールの変更等）は、第12回協議会での審議を経て、計画変更を実施したところであり、今後も、内容が確定した路線から、順次、計画変更を実施する予定
- 新たな運賃体系については、地域公共交通計画に位置付けた方針に則り、引き続き、具体的な運賃設定等について収入増減のシミュレーションを通じて検討し、素案をとりまとめる

地域公共交通
計画

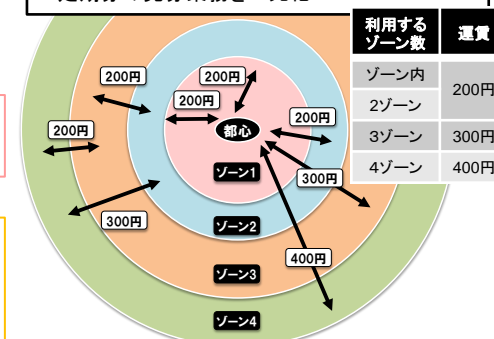
わかりやすく、利用しやすい運賃体系の構築により、
公共交通の利用促進と経営の安定化を図り、公共交通ネットワークを維持・拡充する

新たな運賃体系
の方向性

- 初乗り及び中心部は、利用者の許容範囲内で見直し
- 中・長距離の区間運賃は、わかりやすく、利用しやすい運賃設定に変更
- 路線間や事業者間での乗り継ぎ割引などによりシームレスな運賃体系を構築

＜新たな運賃体系の例（ゾーン運賃制）＞

- 岡山市内全域を対象に複数のゾーンを設定
- 運賃は、利用したゾーン数で設定
- 乗り継ぎ割引(直通運賃)によりシームレス化
- 定期券の発券業務を一元化





令和6年度 地域公共交通確保維持改善事業 事業評価

周防大島町地域公共交通活性化協議会（利便増進実施計画策定事業）の概要

周防大島町の概要

- 平成16年10月に大島郡の久賀町、大島町、東和町、橘町の4町が合併
- 人口 14,798人（令和2年国勢調査）
- 面積 138.10平方キロメートル

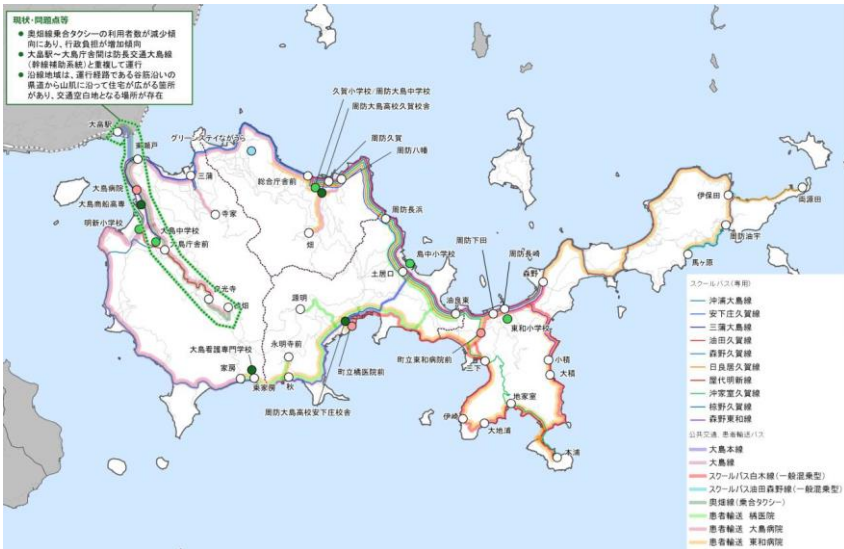
周防大島町地域公共交通活性化協議会の構成員

山口県 周防大島町 防長交通(株) 東和タクシー(株) (有)久観交通
 大島観光タクシー(株) 私鉄中国地方労働組合 住民代表 学識経験者
 バス協会 道路管理者 中国運輸局 柳井警察署 社会福祉協議会 商工会

地域公共交通の現状

- ・ 航路：4航路
- ・ 4条バス路線：防長バス 5系統
- ・ 乗合タクシー：大島観光タクシー(株) ・ 自家用有償旅客運送（東和地域）
- ・ 福祉移送サービス（東和地域）
- ・ 高齢化率55.58%（令和6年4月現在）

地域公共交通の現況



具体的な課題・問題点

- ・ 人口減少、高齢化の進展
- ・ 自動車に依存する生活環境
- ・ バス・タクシー運転手のなり手不足
- ・ 公共交通空白地域の存在
- ・ 運転免許証自主返納者の増加



調査事業の実施

調査事業の概要

- ・ 協議会開催
 - ・ 再編事業の内容検討
 - ・ 利便増進実施計画策定
 - ・ 住民説明会（奥畑線乗合タクシー対象地域）
 - ・ 町民アンケート（奥畑線乗合タクシー対象地域）
 - ・ ヒアリング調査（庁内関係部署、交通事業者）
- 共創事業で実施中

協議会における検討

5回開催予定

協議会の開催状況 (うち3回は共創事業で実施)

- ・第1回(6月24日書面)
計画の変更・幹線補助の申請について
- ・第2回(7月29日)
決算監査報告及び予算について
有償運送の有効期間の更新について
事業内容について
- ・第3回(11月15日)
奥畑線乗合タクシー経過報告について
利便増進実施計画策定について

地域住民の意見の反映

- ・奥畑線乗合タクシー対象地域にて住民説明会を計6回実施した
- ・本年度12月に奥畑線乗合タクシー対象地域1,001世帯を対象にアンケート調査を実施。現在集計中

(共創事業で実施中)

事業実施の適切性

- 事業が計画どおり適切に実施された。

調査事業の結果の概要

- ・持続可能な公共交通網の形成に向け、課題を解決する路線再編内容等を具体的に反映させた利便増進実施計画を取りまとめ。
- ・奥畑線乗合タクシーの対象地域の住民に対して、乗合タクシーの現状やデマンド化・病院送迎との統合等の説明を行い、奥畑線乗合タクシーのデマンド化・無料送迎と統合を行うことへの理解を得た。
- ・住民アンケートを実施し、町民の移動実態や移動の問題点・ニーズの把握。

共創事業で実施



地域公共交通計画等の計画策定に向けた方針等

- ・分かりやすいこと
- ・気軽に使えること
- ・様々な場面で使えること
- ・地域とつながっていること
- ・効率的であること





令和6年度 地域公共交通確保維持改善事業 事業評価 出雲市地域公共交通活性化協議会(利便増進計画策定事業)の概要

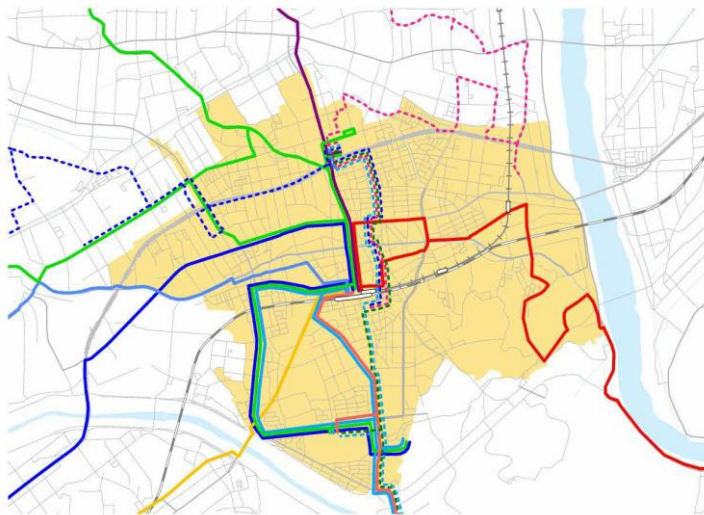
出雲市の概要

- 平成17年3月に2市4町が合併
平成23年10月に1町を編入合併
- 人口 17万人(令和6年10月現在)
- 面積 624.36平方キロメートル

出雲市地域公共交通活性化協議会の構成員

地域代表者 (一社)島根県旅客自動車協会 一畑バス(株) (有)谷本ハイヤー
西日本旅客鉄道(株)中国統括本部 一畑電車(株) 学識経験者
(一社)出雲観光協会 島根県交通運輸産業労働組合協議会 中国運輸局
中国地方整備局 島根県 島根県警察 出雲市議会 出雲市

地域公共交通の現況



- | | |
|--------------|------|
| 一畑バス大社線/日御碕線 | 福祉バス |
| 一畑バス須佐線 | 東部線 |
| 一畑バス小田線 | 西部線 |
| 大寺線 | 宇那手線 |
| 根波線 | 見々久線 |
| 江南線/平成温泉線 | |
| 外園線 | |
| 三刀屋出雲線 | |

地域公共交通の現状

- 鉄道：JR山陰本線、一畑電車
- 4条バス路線：一畑バス(4路線) 出雲市委託バス(6路線)
出雲市委託福祉バス(4路線)

具体的な課題・問題点

- 出雲市の中心市街地である都市計画用途地域内の利便性の向上
- 公共交通の利用者の増加
- 収支率の向上



調査事業の実施

調査事業の概要

- 現況調査(乗車状況、人口分布)
- バス利用者アンケート
- ヒアリング調査(出雲市駅・総合病院・商業施設)
- 利便増進計画素案の作成

協議会における検討

- 協議会の開催状況 3回開催
- 第1回（5月28日）
調査の進め方の確認
 - 第2回（11月1日）
新規路線及び既存の路線の見直し
 - 第3回（12月26日）
既存路線の見直し、事業評価について

地域住民の意見の反映

- 現在の路線の利用者に対し、アンケート調査及びヒアリング調査を実施した。
- 令和3年度の交通計画策定時に、市民から抽出した対象者へアンケート調査を実施した。

事業実施の適切性

- 事業が計画どおり適切に実施されている。
- 利便増進計画策定に必要な調査ができた。

調査事業の結果の概要

- 基礎的データの整理、現況調査などにより、地域の公共交通の状況を整理した。
- アンケートにより、利用者の時間帯別、場所別の移動需要を把握することができた。
- 地域に適したルート、ダイヤについて検討し、素案を作成した。
- 今後、具体案を基に地域住民及び交通事業者と協議を行い、具体化していく。



地域公共交通計画等の計画策定に向けた方針等

- 出雲地域の中心市街地である、都市計画用途地域内の周遊性の向上を図るため、JR出雲市駅北側へ循環線を新設する。
- それに伴い、当該エリア内の主要施設を經由し出雲大社まで運行している一畑バス大社線のルートを見直し、観光客の利便性を向上させる。

北循環線の 신설

大社線の見直し

